

アダモス医療ニュース No.24・25

医療ニュース No.24・25 p1～15

※ 情報の所在をお知らせするのが目的です。詳細情報は、各原典サイトを参照してください。

医療ニュース

2020年5月29日 毎日新聞社

インフルエンザ、ノロ、溶連菌咽頭炎… 府内の感染症が激減 / 京都

◇手洗い、接触回避など 予防策の徹底奏功か

手洗いの励行、人との接触のできる限りの回避……。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う徹底した予防策が広く行われるようになり、その他の感染症も激減している。府健康対策課の集計によると、5月4～10日の週のインフルエンザ患者数は、府内の定点医療機関1カ所当たり0・01人で、2019年同期（0・90人）の90分の1にまで減っている。

インフルエンザ患者数の過去4年のグラフを見れば、20年の“特異”な少なさは明らか。定点医療機関の1カ所当たりの患者数は18、19年ともピークには1日50人前後だが、20年は20人に過ぎない。

同じ5月4～10日の週で比較すると、ノロウイルスなどで起きる感染性胃腸炎も、20年は1医療機関あたりの患者数は1日0・54人で19年（5・05人）の約11%でしかない。子供に多い溶連菌咽頭（いんとう）炎は、20年は0・36人。19年（1・31人）の4分の1程度だ。

府健康対策課の担当者は「新型コロナの感染予防策と他の感染症の少なさとの因果関係を示すデータはないが、標準的な予防策が徹底されたことによる一つの結果だろう。新型コロナ対策はまだ緩めることはできない。引き続き油断しないようにお願いしたい」と話している。【大川泰弘】
〔京都版〕

地域ニュース

尾崎・都医師会長3期目に、副会長選挙は現職3人が当選 制度改正、ビックイベント控え、「気を引き締める」

2019年6月16日 橋本佳子 (m3.com 編集長)

東京都医師会は6月16日の代議員会で任期満了に伴う役員選挙を行い、会長に尾崎治夫氏、副



会長に猪口正孝氏、角田徹氏、平川博之氏の3人を選定した。いずれも現職で、任期は2年。

会長は立候補者が一人のみだったため、無投票で決定。副会長は現職3人のほか、前期理事だった橋本雄幸氏が立候補。都医の代議員は171人、うち163人が出席。各代議員が3人を選ぶ投票で、有効投票161人（計483票）のうち、角田氏160票、平川氏148票、猪口氏113票をそれぞれ獲得して当選、橋本氏は62票だった。

左から、角田副会長、尾崎会長、猪口副会長、平川副会長。

尾崎氏は3期目。現職の3人の副会長とともに、「チーム尾崎」と称して、キャビネット選挙を展開。尾崎氏は就任後のあいさつで、「チーム全員、当選させていただいた」と感謝の意を表わす

一方、橋本氏の立候補や得票数については、「橋本先生に対する票がどのような意味を持つかは、今後十分に考える」と述べるにとどまった。

さらに尾崎氏は、「この3年間は、75歳になる人が、昭和19年（1944年）から昭和21年（1946年）までの生まれのため、いったんは減少する。政府は、この3年間に2040年までの社会保障の枠組みを抜本的に考える方針」と説明。「この3年間は、いろいろ制度が変わってくる極めて大事な時期にある。その意味で、この（任期の）2年間、さらに東京では、東京オリンピック・パラリンピック、この秋にはラグビーワールドカップというビックイベントもあり、気を引き締めて

がんばっていききたい」と抱負を述べ、代議員らの協力を呼びかけた。

16日の代議員会ではその他、理事14人、大学理事1人、監事2人、代議員会議長・副議長各1人を無投票で選定。計23人の役員のうち、新任は理事の4人、女性は理事3人と副議長1人の計4人。

代議員会の冒頭で、尾崎氏は、「開業医あるいは病院勤務医など立場を問わず、「医師の資格を持った全ての医師が医師会に結集することが重要」と述べ、「チームで都民の医療を良くするためにがんばる医師会にしていきたい」と挨拶した。



尾崎会長

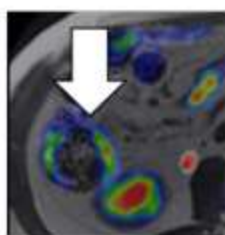
医療ニュース

糖尿病治療薬メトホルミン、便の中にブドウ糖を排泄する作用を確認 神戸大、研究成果は、米国糖尿病学会学会誌「Diabetes Care」に掲載 2020年06月05日

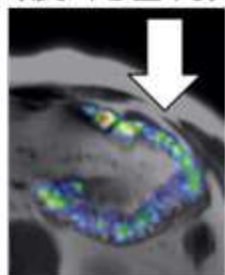
メトホルミンによる血糖値低下メカニズムの詳細は？

神戸大学は6月3日、糖尿病治療薬「メトホルミン」が便の中にブドウ糖を排泄する作用を有することを、ヒトを対象とした研究で明らかにしたと発表した。この研究は、同大大学院医学研究科

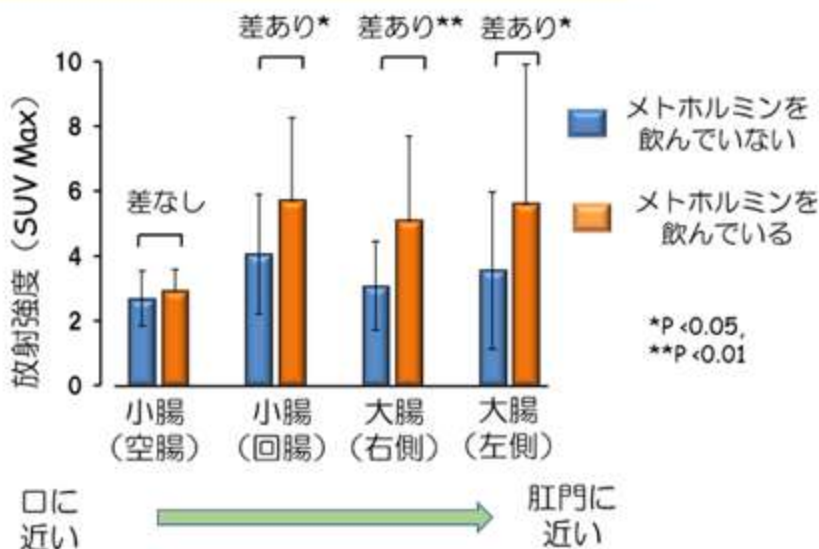
腸の壁



腸の中 (便/内容物)



「腸の中」へのブドウ糖の集まり方



糖尿病・内分泌内科学部門の小川渉教授、放射線診断学分野の野上宗伸特命准教授らの研究グループによるもの。研究成果は、米国糖尿病学会学会誌「Diabetes Care」に掲載されている。糖尿病は血糖値（血液中のブドウ糖濃度）が高くなる病気であり、血糖値の上昇が血管を傷つけることにより、さまざまな病気を引き起こす。日本の糖尿病患者数は1000万人を超えるとされ、糖尿病によって引き起こされる合併症の予防は、医療の重要な課題だ。

血糖値を下げる薬はいろいろなものが開発されており、中でも、メトホルミンは古くから使われている薬剤。販売開始後60年以上が経過しており、現在、世界で最も多くの患者が服用している糖尿病治療薬だ。

メトホルミンの服用により患者の血糖値は下がるが、同剤がどのようなメカニズムで血糖値を下げるのかについて詳細は明らかになっていない。メトホルミン作用メカニズムの解明により、より良い糖尿病治療薬の開発につながるため、メトホルミン作用の研究は世界中で行われている。

メトホルミンを服用している・していない糖尿病患者のブドウ糖の動きをPET-MRIで調査

フルオロデオキシグルコース-ポジトロン断層撮影（fluorodeoxyglucose-positron emission tomography：FDG-PET）は、ブドウ糖によく似た物質であるFDGを患者の血管の中に投与し、その後FDGが体の中のどこに集まるかを調べる検査だ。FDGはヒトの体の中でブドウ糖と同じような動きをするので、体の中でブドウ糖がどのように動いているか、どのような臓器がブドウ糖をたくさん使うかなどを調べることができる。

FDG-PETは、通常PET装置とコンピューター断層撮影（computed tomography：CT）装置が一体化した装置を用いてFDG-PETとCTの画像を得て、FDGが体の中のどこに集まっているかを詳しく調べる。最近、PET装置と核磁気共鳴画像法（magnetic resonance imaging：MRI）装置が一体化したPET-MRIという装置が開発された。MRIは強力な磁力を利用して体の中を詳しく調べる検査であり、CTではわからない構造なども調べることができる。PET-MRIは、全国で9台しか設置されていない貴重な検査装置である。

今回、研究グループは、PET-MRIを用いてメトホルミンを服用している糖尿病患者と服用していない糖尿病患者の体の中でブドウ糖の動きを調べた。

便の中へブドウ糖を排出する作用、メトホルミンの血糖値低下効果と関係か

研究の結果、メトホルミンを服用している患者では、ブドウ糖（FDG）が腸に集まることがわかった。腸の中でどこに集まっているかを知るために、「腸の壁」と「腸の中（便やそのほかの内容物）」に分けて調べた結果、小腸の肛門に近い部分（回腸）から先において、メトホルミンを服用している患者の腸の中にブドウ糖が多く集まることが判明した。一方、「腸の壁」へのブドウ糖の集まり方には、メトホルミンを服用している患者と服用していない患者の間で差はなかったという。

この結果は、メトホルミンの服用により血液の中のブドウ糖が、腸から便の中へ出ていくことを示している。メトホルミンがブドウ糖を便の中へ出させることはもとより、ヒトの体の中でブドウ糖が腸から便の中に出ていくという現象自体、今まで知られていなかった発見だという。

近年、尿の中にブドウ糖を出す作用を有するSGLT2阻害剤という糖尿病治療薬が発売され、その効果に注目が集まっている。今回の研究で発見された、便の中へブドウ糖を出すという作用も、メトホルミンが血糖値を下げる効果と関係している可能性があるとしている。

便にブドウ糖を排出する作用と腸内細菌叢の変化は関係している可能性も

これまで、PET-CTを用いた検討で、メトホルミンの服用により腸にブドウ糖が集まることは報告されていたが、十分な根拠のないまま、ブドウ糖は腸の壁に集まるとされていた。今回、PET-MRI

を使うことにより、初めて、ブドウ糖の集まり方を「腸の壁」と「便の中」に分けて調べることができ、「便の中」に集まることがわかった。

SGLT2 阻害剤を服用すると、1 日当たり数十 g のブドウ糖が尿の中に出ていくとされている。今回の検討では、メトホルミンによって便の中に何 g のブドウ糖が出ていくかという量的な評価はできなかった。研究グループは、今後、新しい撮像法の開発によって量的な評価が可能となれば、今回の発見の意義が一層明らかになると考えられるとしている。

また、メトホルミンによる腸内細菌叢の変化も、血糖値を下げる作用と関係していると考えられている。しかし、同剤がどのようなメカニズムで腸内細菌叢を変化させるかはわかっていない。ブドウ糖など栄養素の変化は細菌の増殖に影響を及ぼすため、便にブドウ糖を出すことと腸内細菌叢の変化は関係している可能性がある、と研究グループは述べている。(QLifePro 編集部)

▼関連リンク ・神戸大学 プレスリリース

「手術禁止はパワハラ」 脳外科医3人が提訴、岡山

2020年6月4日 共同通信社

岡山済生会総合病院（岡山市）で手術を中止するよう命じられたのは医療行為の妨害でパワーハラスメントに当たるとして、同病院の脳神経外科医3人が3日、院長と前院長、病院を運営する社会福祉法人「恩賜財団済生会」に計2376万円の損害賠償を求め、岡山地裁に提訴した。

訴状によると、原告らは2011年以降、当時の院長や前院長らによる退職強要などのパワハラを受けていた。原告らが実施した「後縦靱帯（じんたい）骨化症（OPLL）」の手術で、患者が合併症で重度の後遺障害を負ったとして、病院側から17年3月以降、計3回、脊椎に関する手術禁止命令を受けた。

原告側は、患者の症状が固定せず、後遺障害認定の医学的根拠がないのに、病院のホームページ



で「後遺障害が認められる」と公表され、名誉を傷つけられたと主張。「手術禁止命令はパワハラの一環だ」としている。

原告側は手術禁止命令の無効を求める仮処分を地裁に申し立てている。

記者会見した原告側代理人の金馬健二（こんま・けんじ）弁護士は「OPLL以外の脊椎手術で合併症はほぼ発生していない。患者が救済されないのは大きな問題だ」と話した。

同病院は「十分な安全が確保できないため、原因究明ができない限り再開は見通せない」と説明している。

医療ニュース

川崎富作氏が死去 「川崎病」の発見者

2020年6月10日 共同通信社

乳幼児を襲う謎の病気「川崎病」を発見した小児科医の川崎富作（かわさき・とみさく）氏が5日午後、老衰のため東京都内の病院で死去した。95歳。東京都出身。自宅は非公表。葬儀・告別式は親族で行った。日本川崎病研究センターが発表した。

1948年に千葉医科大付属医学専門部（現・千葉大医学部）を卒業後、東京都の日赤中央病院（現・日赤医療センター）小児科の勤務医に。

61年、高熱や発疹（ほっしん）などを特徴とする見慣れない病気の存在に気づき、症例を集めて研究を重ね、67年に「急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群」という新しい病気だとする論文を発表。その後、川崎病と名付けられた。

川崎病の原因はウイルスや細菌とする説もあるが、決定的な証拠がなく、いまだに不明。治療法はほぼ確立したものの、効かない場合や心臓に後遺症が出ることがある。

90年に日赤医療センターを退職後、川崎病研究情報センター（現・日本川崎病研究センター）所長に就任、理事長、名誉理事長を務めた。

91年に日本学士院賞、2006年4月には第1回日本小児科学会賞を受賞した。10年に東京都名誉都民に選ばれた。

世界初「涙」で乳がん検査 最速10分で検出、神戸大が来年度に実用化か

2020年6月2日



神戸大が微量の涙で乳がんを早期発見する技術を開発したと発表した。細胞が分泌する物質「エクソソーム」を高感度に検出し、がん患者と健常者を識別することに成功した。痛みのない検査のため受診者の負担が軽く、実用化されれば乳がん検診の受診率向上が期待できるという。来年度中の実用化を目指す。

「エクソソーム」検出で短時間での検出を可能に

今回の技術を開発したのは、神戸大学大学院工学研究科の竹内俊文教授を中心とした研究グループ「Team TearExo（チーム・ティアエクソ）」。

あらゆる細胞から放出される微細な小胞「エクソソーム」は、新しい検査のバイオマーカーとして期待され、その検出や解析技術の研究が世界中で行われている。がん細胞から分泌されるエクソソームと正常細胞から出るそれとは異なることが分かっており、研究チームは今回、がん細胞由来のエクソソームを高精度、短時間に検出する技術を確立したという。

具体的にはろ紙に含ませた涙を、研究チームが開発した検出用のチップに流して全自動で測定。最短約10分で結果が出るという。現在もっとも普及している乳がん検査と比べて痛みがなく、涙を採取するだけなので負担も少ない。また、がん検出に加え、抗がん剤投与後の身体の反応なども判別できるとしており、治療開始後の薬物療法の効果や再発チェックにも応用できる。同大は「涙液を用いたがん検出と予後のケアが実現可能となることが世界で初めて示された」としている。

竹内教授のチームは昨年未開催された医療技術のコンペティション「メドテックグランプリ KOBE」で最優秀賞を獲得しており、神戸医療産業都市の支援を受けて開発を加速させている。同教授によれば来年度には実用化したいとしている。

最も効果的なダイエット法はどれか？

HealthDay News 2020/04/29

新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着くまで自宅待機を要請される中、これを機に減量しようと思う人もいるかもしれない。だが、どのダイエット法が良いのだろうか？

マクマスター大学（カナダ）のGordon Guyatt氏らが「BMJ」4月1日オ



ンライン版に発表した研究結果によれば、答えは、短期的には「どの食事法でも良い」だが、長期的には「いずれにしても、1年以内に体重は元に戻ってしまう可能性が高い」ということになりそうだ。

Guyatt 氏らは、一般に広く浸透しているさまざまな食事法と、減量や心血管リスク因子との関連を調べた 121 件のランダム化比較試験論文をもとに、2 万 1,942 人（平均年齢 49 歳）のデータを解析した。対象者の食事法は、主要栄養素のパターン〔低炭水化物、低脂質、中程度の主要栄養素（低脂質に近いが、低脂質よりは脂肪摂取が多く、炭水化物摂取は少ない）〕、および一般的に知られている 14 種類の食事プログラム（アトキンスダイエット、DASH 食、地中海食など）に従って分類された。

DASH 食や地中海食は、いずれも果物や野菜、全粒穀物、ナッツ、豆類、魚を積極的に摂取し、砂糖や脂質、赤肉の摂取を抑える食事法だ。これらは心血管の健康に良い影響を与えるとされている。しかし、Guyatt 氏の説明によると、DASH 食や地中海食により心疾患や脳卒中のリスクが低下することは、証明されていないという。

解析の結果、6 カ月間にわたって低糖質食および低脂質食摂取を遵守した人では体重が平均で 9～11 ポンド（4.1～5kg）減少し、血圧低下も認められた。よく知られた食事法の中では、アトキンスダイエット、DASH 食、ゾーンダイエットが、減量（3.5～5.5kg）および血圧低下に対して最も効果的だった。ただし、「善玉コレステロール」とも呼ばれる HDL-コレステロール値や炎症マーカーである C 反応性蛋白（CRP）値に関しては、どの食事法でも改善は認められなかった。

しかし、どの食事法を実践していても、1 年後には、全体的に対象者の体重は再び増加し、心血管の健康に対するベネフィットは消失していた。ただ、地中海食についてのみ、脂質値のわずかな改善が引き続き認められたとしている。

こうした結果を受けて Guyatt 氏らは、「どの食事法を選んでも、初めのうちは体重が減り、血圧値や脂質値が低下する。減量後の体重を維持できれば、心筋梗塞や脳卒中のような心血管疾患リスクも低下する」と説明している。ただし、同氏は、実際にそれを達成するのが容易ではないことも認めている。「減量後の体重を維持するには、かなり強い意志が必要だ。維持できる人もいるが、一般的には極めて難しい。残念ながら、特効薬はないのだ」と話している。

今回の Guyatt 氏らの報告を受けて、この研究には関与していない米ニューヨーク大学ランゴン・ヘルスの栄養士である Samantha Heller 氏は、「家庭で調理した植物性食品の摂取を増やし、加工食品の摂取を減らすことは、慢性疾患リスクの低下や体重管理、活力の増進につながる」と説明。その上で、「ファストフードやジャンクフード、調理済み食品を摂取し続けることは健康に悪いという事実に向き合う必要がある」と指摘している。

ただし、Heller 氏は、健康的な食品も含めた全ての食べ物が、体重増加の原因となり得ることを強調し、食べる量や身体活動の重要性にも留意すべきとの見解を示している。原著論文；Ge L, et al. BMJ. 2020 Apr 1.

医療ニュース

診療報酬95万円詐取疑い 医師ら2人逮捕

2020年5月27日 共同通信社

虚偽のカルテを作成して診療報酬約95万円をだまし取ったとして、警視庁捜査2課は27日までに詐欺などの疑いで、東京都羽村市の医療法人「甲神会」理事長で医師の広戸孝行（ひろと・たかゆき）容疑者（49）＝東京都国分寺市＝と、同法人の事務長山田誠（やまだ・まこと）容疑者（53）＝羽村市＝を逮捕した。

捜査2課によると、広戸容疑者は、山田容疑者の母が末期がんで約2カ月間在宅診療したとする虚偽のカルテを作成。実際は一度も往診しておらず、以前から同様の行為を繰り返していたとみて

調べる。

逮捕容疑は1月上旬～2月下旬、虚偽の電子カルテを作成するなどして、東京都後期高齢者医療広域連合から診療報酬をだまし取った疑い。

急性脳梗塞へのt-PA 治療開始、早期ほど転帰良好/JAMA

ケアネット 2020/06/11



65歳以上の急性虚血性脳卒中の患者に対するt-PA治療について、来院から治療開始までの時間（door-to-needle time）が短いほど、1年後の全死因死亡および全再入院の割合は低いことが明らかにされた。米国・クリーブランドクリニックのShumei Man氏らが、6万例超を対象とした後ろ向きコホート試験の結果を報告した。著者は、「今回の結果は、血栓溶解療法はできるだけ早く開始すべきことを支持するものであった」とまとめている。先行研究で急性虚血性脳卒中の患者に対するt-PA治療の早期開始は、退院までの死亡率を低下し、3ヵ月時点の機能的アウトカムが良好であることを示していたが、治療開始までの時間短縮がより良好な長期的アウトカムにつながるかについては明らかになっていなかった。JAMA誌2020年6月2日号掲載の報告。

1年時点の全死因死亡率と全再入院率を比較

研究グループは2006年1月1日～2016年12月31日にかけて、米国で行われている心疾患治療標準化のためのレジストリ「Get With The Guidelines-Stroke（GWTG-脳卒中）」プログラムに参加する病院で、急性虚血性脳卒中を発症しt-PA静脈投与を受けた65歳以上のメディケア受給者を対象に、後ろ向きコホート試験を行った。被験者は、体調が悪化してから4.5時間以内にt-PA静脈投与を受けた患者に限定した。

来院からt-PA治療開始までの時間と、1年時点の全死因死亡率、全再入院率、全死因死亡・全再入院の複合発生率との関連を検証した。追跡期間は1年間で、2017年12月まで行った。

治療開始が15分延長するごとに、全死因死亡リスク1.04倍に

4.5時間以内にt-PA治療を受けた患者は6万1,426例で、年齢中央値は80歳、男性が43.5%。来院から治療開始までの時間の中央値は、65分（四分位範囲：49～88）だった。

治療開始までの時間が45分超だった4万8,666例（79.2%）は、45分以内だった被験者と比べて、全死因死亡率が有意に高率だった（35.0% vs. 30.8%、補正後ハザード比[HR]：1.13 [95%信頼区間[CI]：1.09～1.18]、 $p<0.001$ ）。また、全再入院率（40.8% vs. 38.4%、1.08 [1.05～1.12]、 $p<0.001$ ）、全死因死亡・全再入院の複合発生率（56.0% vs. 52.1%、1.09 [1.06～1.12]、 $p<0.001$ ）も45分超群で有意に高率だった。

治療開始までの時間が60分超だった3万4,367例（55.9%）についても、60分以内だった被験者と比べて、全死因死亡率（35.8% vs. 32.1%、補正後HR：1.11 [95%CI：1.07～1.14]、 $p<0.001$ ）、全再入院率（41.3% vs. 39.1%、1.07 [1.04～1.10]、 $p<0.001$ ）、全死因死亡・全再入院の複合発生率（56.8% vs. 53.1%、1.08 [1.05～1.10]、 $p<0.001$ ）のいずれも有意に高率だった。

全死因死亡は、治療開始が15分延長するごとに、病院到着後90分以内では有意に増大することが示された（補正後HR：1.04、95%CI：1.02～1.05、 $p<0.001$ ）。しかし90分以降では増大は有意ではなかった（1.01、0.99～1.03、 $p=0.27$ ）。

また、病院到着後90分以内で治療開始が15分延長するごとに、全再入院、全死因死亡・全再入

院の複合発生のリスクは、いずれも有意に増大した（いずれも HR : 1.02、95%CI : 1.01~1.03、p <0.001）。

（医療ジャーナリスト 當麻 あづさ） 原著論文 ; Man S, et al. JAMA. 2020;323:2170-2184.

「ネックレス型心電計」で心房細動を発見

HealthDay News 2020/06/11



革新的な医療用デバイスが次々と登場する中、ネックレス型の小型心電計（ECG）で不整脈の一種である心房細動を発見できる時代も近い。そんな研究結果を、東フィンランド大学（フィンランド）の Elmeri Santala 氏らが欧州心臓病学会（ESC）の公式サイトで発表した。同氏らは、ペンダントトップに携帯型 ECG を内蔵したネックレス型 ECG を設計。145 人のフィンランド人を対象にデバイスの有用性を検証したところ、わずか 30 秒間で高い精度で心房細動を検出できることが分かった。

Santala 氏らが考案したネックレス型デバイスは、ペンダントトップに携帯型 ECG を内蔵したものの。測定した 30 秒間の心電図データはスマートフォンのアプリケーション（スマホアプリ）に送信され、すぐさまクラウドサーバーに転送される。そこで人工知能（AI）を用いて瞬時に心房細動の有無を分析し、数秒以内にスマホアプリに分析結果が表示される。分析結果は患者と医師の双方に送られ、最終的に医師が診断を下す。同氏によれば、患者はスマホアプリを起動して、デバイスを両手の間、または手のひらと胸の間に 30 秒間置くだけで済むという。

Santala 氏らは、145 人のフィンランド人を対象に、このネックレス型の ECG の有用性を検証した。参加者全員から、標準的な心電図とネックレス型 ECG を用いた心電図データを収集した。なお、研究には循環器専門医も参加した。

その結果、このネックレス型デバイスは極めて正確な心電図データを収集できることが分かった。また、AI 自動診断の精度が高いことも明らかになった。実際に心房細動の心拍数異常を経験した人を「陽性」と正しく判定する割合（感度）は 95~98%、心房細動のない健康な人を「陰性」と正しく判定する割合（特異度）は 100%だった。

不整脈の中でも心房細動患者は世界中で増加し、公衆衛生上の問題となっている。Santala 氏は「ネックレス型 ECG は、心房細動リスクの高い人のセルフモニタリングに役立つのではないかと期待を寄せている。

なお、米国の心房細動患者は約 270 万人に上る。米国心臓協会（AHA）と米国脳卒中学会（ASA）は、健診で心房細動のスクリーニングを受けることは「有用な可能性がある」との見解を示している。一方、米国予防医学専門委員会（USPSTF）は、無症状の人では定期的な心電図スクリーニングのエビデンスは不十分との理由から推奨していない。一方、ESC は、65 歳以上には時々、75 歳以上や脳卒中リスクが高い人には定期的なスクリーニングを推奨している。

心房細動をモニターする方法には、既に、電極を胸に装着するウェアラブルな小型のホルター心電計や植え込み型のループ心電計、Apple iWatch の心電図アプリなどさまざまなものがある。ただ、これらは高価で、医師による診断を必要とする。一方、ネックレス型 ECG は安価で利便性も高く、心房細動の検出率向上に寄与するものと期待されるという。

今回の報告を受けて、米マサチューセッツ総合病院の Patrick Ellinor 氏は「心房細動のスクリーニング検査数を増やすには、身に着けられるデバイスがあると一番良い。その代表例の iWatch はデザイン性も高く、多くの人に受け入れられた。このネックレス型デバイスも機能が充実し、良いデザインで iWatch よりも安価であれば妥当な選択肢の一つになり得る」と話している。

なお、学会発表された研究結果は通常、査読を受けて医学誌に掲載されるまでは予備的なものとみなされる。

糖尿病治療ガイド 2020-2021 が完成/日本糖尿病学会

ケアネット 2020/05/15



日本糖尿病学会（理事長：門脇 孝）は、『糖尿病治療ガイド 2020-2021』を発行した。本書は、糖尿病診療の基本的な考え方から最新情報までをわかりやすくまとめたガイドで専門医はもとより、非専門の医師、他の医療スタッフなどにも広く活用されている。

今回の改訂では、11章に「病態やライフステージに基づいた治療の実例」を新設し、全面的に内容をアップデートした。

改訂された主な項目は次のとおり。

- ・4章「食事療法」の記載内容を、『糖尿病診療ガイドライン 2019』に合わせ大幅に改訂。
- ・初版以来、基本変更がされていなかった「糖尿病治療の目標」と「インスリン非依存状態の治療」の図を大幅に改訂。
- ・6章「薬物療法」と付録「血糖降下薬一覧表」を2020年4月現在の薬剤情報にアップデート。
- ・具体的な治療薬の選択基準を示すべく、11章「病態やライフステージに基づいた治療の実例」を新設。

本書の序文では、「日々進歩している糖尿病治療の理解に役立ち、毎日の診療に一層活用されることを願ってやまない」と診療での活用に期待を寄せている。

■主な目次項目

1. 糖尿病 疾患の考え方
 2. 診断
 3. 治療
 4. 食事療法
 5. 運動療法
 6. 薬物療法
 7. 糖尿病合併症とその対策
 8. 低血糖およびシックデイ
 9. ライフステージごとの糖尿病
 10. 専門医に依頼すべきポイント
 11. 病態やライフステージに基づいた治療の実例
- 付録/索引

(ケアネット 稲川 進)

参考文献・参考サイト；日本糖尿病学会ホームページ：「糖尿病治療ガイド 2020-2021」が発行。

日本人男性の食事と死亡率、60年でこう変わった

ケアネット 2020/02/13



日本人の食事の欧米化が進んでいるが、過去60年間の食事パターンはどの程度変化しているのだろうか。また、それは冠動脈疾患の死亡率に関連しているのだろうか。久留米大学の足達 寿氏らは、Seven Countries Studyの中の日本人コホートである田主丸研究（久留米大学による久留米市田主丸町住民の疫学調査）において、栄養摂取量の変化と冠動脈リスク因子または死亡率の関係を調査した。Heart and Vessels 誌オンライン版 2020年1月29日号に掲載。

本研究では40～64歳の男性すべてを登録し、被験者数は、1958年628人、1977年539人、1982年602人、1989年752人、1999年402人、2009年329人、2018年160人であった。1958～89年は24時間思い出し法、1958～89年は食事摂取頻度調査票を用いて、食事摂取パターンを評価。

主な結果は以下のとおり。

- ・1日当たりの総エネルギー摂取量は、2,837kcal（1958年）から2,096kcal（2018年）に減少。
- ・炭水化物摂取量の全体に対する割合は84%から53%に著しく減少したが、脂肪摂取量の割合は5%から24%に大幅に増加した。
- ・年齢調整後の平均コレステロール値は167.9mg/dLから209.4mg/dLに急激に上昇し、BMIも21.7から24.4に増加した。
- ・喫煙率は69%から30%に減少した。
- ・脳卒中およびがんによる死亡率は低下したが、心筋梗塞および突然死による死亡率は低いまま安定していた。（ケアネット 金沢 浩子）

原著論文；Adachi H, et al. Heart Vessels. 2020 Jan 29.

フィルターを使って淹れるコーヒーが心臓に良い可能性を示唆

HealthDay News 2020/05/19



コーヒーを飲むのなら、フィルターを使って淹れるコーヒーが最も健康的であることが、ヨーテボリ大学（スウェーデン）のDag Thelle氏らによる研究で示された。コーヒーを日常的に飲んでいる人は、コーヒーを飲む習慣がない人と比べて寿命が長かったという。ただし、これが当てはまるのはフィルターで濾過して抽出したコーヒーを飲んでいる場合のみで、エスプレッソなどフィルターで

濾過しないコーヒーを愛飲する人では寿命の延長は認められなかったとしている。詳細は「European Journal of Preventive Cardiology」4月22日オンライン版に発表された。

Thelle氏らが今回報告した研究は、20～79歳の男女50万8,747人を対象に実施したもの。20年間の追跡期間中に4万6,341人があらゆる死因で、1万2,621人が心血管疾患で、6,202人が虚血性心疾患で、2,894人が脳卒中で死亡していた。体重や血圧値、脂質値、運動や喫煙の習慣などを調整して解析した結果、コーヒーをほとんど、あるいは全く飲まない人と比べて、フィルターで濾過して抽出したコーヒーを日常的に飲む人では全死亡リスクが15%低かった。

また、コーヒーを飲む習慣がある人の中では、虚血性心疾患や脳卒中による死亡リスクは、フィルターで濾過して抽出したコーヒーを1日に1～4杯程度飲む人で最も低かった。これに対し、死亡リスクが最も高かったのは、フィルターで濾過しないコーヒーを1日に9杯以上飲む人だった。

フィルターで濾過しないコーヒーは、挽いた粉が熱湯に触れる時間が長いことが特徴で、エスプレッソやボイルド・コーヒー、フレンチプレスで淹れたコーヒーがその例である。これまで、こうしたコーヒーには天然由来の油脂が多く含まれていることから、血中コレステロール値を上昇させるのではないかと考えられてきた。Thelle氏は、今回の研究結果はこのことが影響している可能性があるとし、「健康に及ぼす影響という点で言えば、フィルターで濾過して淹れるコーヒーが最も好ましいといえる」と述べている。

研究結果の報告を受け、米国の栄養と食事のアカデミー（Academy of Nutrition and

Dietetics) の元会長で食品・栄養コンサルタントの Connie Diekman 氏は、この研究で因果関係が証明されたわけではないことを強調。例えば、コーヒーに砂糖やクリームを加えているのかなど、研究対象者の食事内容に関する情報が欠如していることを指摘し、食事の違いが結果に影響した可能性があるとの見解を示している。また、同氏は「確かにフィルターで濾過しないコーヒーには、コレステロール値を上昇させるコーヒー豆の成分も含まれているが、コレステロール値を上げるほどの量ではない」と説明している。

栄養と食事のアカデミーのスポークスパーソンで米セント・ルイス大学の Whitney Linsenmeyer 氏も「興味深い報告ではあるが、1日当たりのコーヒーの総摂取量や甘味料の使用の有無など、コーヒーの飲み方が結果に影響した可能性はある」と指摘するなど、Diekman 氏と同様の見解を示している。

また、Diekman 氏はカフェインについても言及し、「これまでのエビデンスに基づけば、妊婦や授乳中の女性を除けばほとんどの成人にとって安全なカフェインの摂取量は1日当たり 400mg (コーヒー粉末 10 g を熱湯 150mL で抽出した場合、60mg/100mL のカフェインが含まれる) までだと考えられる」と話している。

[2020年4月23日/HealthDayNews] Copyright (c) 2020 HealthDay. All rights reserved. 利用規定はこちら

原著論文 ; Tverdal A, et al. Eur J Prev Cardiol. 2020 Apr 22.

ダークチョコを毎日食べると認知機能が向上

HealthDay News 2019/12/30



ダークチョコレートを毎日食べると、神経成長因子 (NGF) という蛋白質が増加し認知機能も向上するという研究結果が報告された。しかもチョコレートの摂取を中止した後もしばらく認知機能が高い状態が維持されるという。ただしホワイトチョコレートにはこの効果はないとのことだ。島根大学医学部環境生理学の住吉愛里氏らの研究によるもので、「Nutrients」11月16日オンライン版に掲載された。

この研究は島根大学の健康な学生 20 人 (20~31 歳、男性 14 人) を対象に行われた (介入中に 2 人が脱落)。全体を無作為に 2 群に分け、1 群にはカカオパウダーを含むダークチョコレート (24.0g/日)、別の 1 群にはカカオを含んでいないホワイトチョコレート (24.5g/日) を支給し、30 日間毎日食べてもらった。この間、カフェイン入り飲料は 1 日 3 杯までとし、支給したものの以外のチョコレートの摂取を禁止した。認知機能および血中 NGF 濃度は、連日摂取の介入前、介入終了時、そしてカカオ成分であるテオブロミンの血中濃度が通常レベルに戻ると考えられる介入終了から 3 週間経過した時点の計 3 回、計測した。

認知機能は以下の 2 つの方法で判定した。テスト 1 は、赤、黄、青、緑という文字が 4 色の異なる色 (赤、黄、青、緑) で印字されたもの (文字の色と文字の読みは無関係) を見て、文字の読みまたは色を瞬時に答えるというもの。テスト 2 は、無作為に並んでいる 0~9 の数字の中から、指示された数字だけを時間内にできるだけ多くチェックするというもので、1 分間の休憩を挟み 3 回繰り返した。

これらの測定結果を時系列で見ると、まず、介入前の認知機能と血中 NGF 濃度は両群同等だった。その後 30 日間の介入期間中、チョコレートの摂取やカフェイン入り飲料の摂取制限は、両群ともによく守られており群間差がなかった。次に、介入終了時にダークチョコレート群では NGF 濃度が有意に上昇していることが確認された (P=0.0059)。

そして、テスト1の文字読みの正答数が有意に増加していた ($P=0.017$)。またテスト2では3回目のトライの正答率が有意に向上していた ($P=0.014$)。ところがその一方、ホワイトチョコレート群ではいずれも有意な変化がなかった。

続いて介入終了から3週間後の結果だが、ダークチョコレート群ではNGF濃度は介入前のレベルに戻っていた。しかし、認知機能は引き続き有意に高い状態に維持されていた。なお、テスト1の文字の色読みの正答数は、ダークチョコレート群では介入前より有意に増加していた ($P=0.012$)。ホワイトチョコレート群は $P=0.050$)。

この他、同時に検討されたテオブロミン濃度はダークチョコレート群の介入期間のみ、血中レベルが有意に高かった。血中カフェイン濃度、脳由来神経栄養因子 (BDNF)、前頭前野血流量は、両群ともに有意な変化は見られなかった。

これらの結果について著者らは、「ダークチョコレートの連日摂取によって、血中NGFとテオブロミンのレベルが上昇し、認知機能の向上が認められた」とまとめるとともに、「連続摂取が終了しNGF、テオブロミンレベルが介入前値に戻った後も、認知機能の高い状態が継続していたことは興味深く、分子メカニズムの検討が必要」としている。

[2019年12月9日/HealthDayNews]Copyright (c) 2019 HealthDay. All rights reserved. 利用規定はこちら

原著論文 ; Sumiyoshi E, et al. Nutrients. 2019; 11 pii: E2800.

寝不足が脳に与える影響は深刻

HealthDay News 2020/01/07



寝不足で頭が働かないと感じるのは、気のせいではないようだ。睡眠不足がもたらす脳への影響は、これまで考えられていたよりもはるかに深刻であることが、米ミシガン州立大学の睡眠・学習ラボ (Sleep and Learning Lab) 代表を務める Kimberly Fenn 氏らの研究で示された。睡眠不足が認知機能に与える影響は注意力だけにとどまらず、予想以上に大きな危険を伴うことが分かったという。研究の詳細は

「Experimental Psychology: General」11月21日オンライン版に掲載された。

Fenn 氏らは今回、計138人の参加者のうち77人には一晩中眠らずに起きていてもらい、61人には自宅で普段通りの睡眠を取ってもらい、認知機能を比較する実験を行った。全ての参加者には、実験当日の夕方と翌朝に2つの認知機能に関するテストを実施した。一方では、光に反応してボタンを押すまでの時間を測定して注意力を評価。もう一方では、途中で作業を中断されても、1つのタスクを完了させるために複数の手順を踏むことを指す「プレースキーピング」の能力を評価。

その結果、睡眠不足のグループでは、作業が中断された後にプレースキーピングエラーを起こす確率は、実験当日の夕方には15%だったのに対し、翌朝には30%にまで急上昇したことが分かった。一方、自宅で普段通りに眠ったグループでは、実験当日の夕方と翌朝でエラーを起こす確率に変化は見られなかった。

Fenn 氏は「今回の研究では、睡眠不足によって不注意によるミスが起こる確率は3倍に上がったが、プレースキーピングエラーが起こる確率も2倍になることが示された。これは驚くべき結果だ」と説明。その上で、「睡眠不足の人は、何をするにも十分に注意を払う必要があり、大きなミスなどはしないと思ってはいけない。とりわけ自動車を運転する際には、そうしたミスが悲劇的な結果をもたらすことも少なくない」と同氏は警鐘を鳴らしている。なお、Fenn 氏らの研究は、この分野の中では最も規模が大きいもので、睡眠不足がプレースキーピングに与える影響を初めて検

討したものだという。

共著者の一人で同大学の Michelle Stepan 氏は「私たちの研究結果は、睡眠不足が認知機能に与える影響は注意力に限られるという一般的な見方を覆すものだ」と指摘。「睡眠不足でも、例えば医師であれば、患者のバイタルを取るといった日常的な作業は問題なく行えるかもしれない。しかし、いくつかの手順に従う必要がある医療行為では、睡眠不足の状態だと予想以上のミスを犯す危険性が高い可能性がある」と説明している。Fenn 氏も「睡眠不足は、仕事や生活のあらゆる面に多大な損失をもたらすことを知っておくべきだ」と注意を促している。

原著論文 ; Stepan ME, et al. J Exp Psychol Gen. 2019 Nov 21.

第5回 コロナ対応で見えてきた政治家の実力

2020/04/30 ケアネット

裏側から木曜日インデックスページ ニュース批評インデックスページ

日々さまざまなメディアで報じられる医療ニュース。視点を変えると違った側面が見えてくるかもしれません。全国紙や出版社で執筆経験豊富なベテランジャーナリストが、多角的なニュースの味わい方をお届けします。

新型コロナウイルスへの対応が、政治家の実力や真価を浮き彫りにしている。北海道の鈴木 直道知事 (39 歳) や大阪府の吉村 洋文知事 (44 歳)、千葉市の熊谷 俊人市長 (42 歳) ら若手首長の行動力や情報発信力は際立っている。一方、ベテラン首長の行動力や知恵のなさ、国会議員に至っては金銭欲と自己顕示欲が露呈した。混沌としている状況下、今こそ政治力が必要なのに、若手首長のリーダーシップに頼らざるを得ないのが日本の現状だ。

国会議員は、給与に当たる歳費を5月から1年間、2割削減されることになった。“年収”に相当する約1,552万円が、削減後は約1,240万円となるが、市民感覚からすれば十分高給だ。その上、領収書不要で「第2の給与」と呼ばれる文書通信交通滞在費約1,200万円、期末手当約640万円、立法事務費約780万円を合わせると、年トータルの支給額は約3,860万円となる。歳費の2割削減など痛くも痒くもないだろう。普段、安倍政権を批判することで存在感を發揮している野党から、文書通信交通滞在費返上の声でも聞きたいものだ。

自治体に目を向けると、東京・神奈川・埼玉が事業者に休業を要請する中、千葉県は一貫して慎重な姿勢を示していたが、都内から茨城県のパチンコ店などに人が移動する状況が指摘されると、森田 健作知事 (70 歳) は、遅まきながら休業要請に一転。幕張メッセ (千葉市) を中等症の患者1,000人を受け入れる臨時医療施設として整備することを決めたのも、自民党県連の申し入れに押されてのことだった。

また、新型コロナに感染、軽症ということで自宅待機していた男性2人が死亡した埼玉県では、大野 元裕知事 (56 歳) が「病床不足のため自宅待機もやむを得なかった」と釈明、今後は、軽症者・無症状者については原則ホテルでの療養に切り替える方針を明らかにした。

埼玉県は長年、医師不足に悩んでいる。10万人当たりの医師数が全国で最も少ない中で、新型コロナに対する効率的な医療対応をするための策が必要だ。県はさいたまスーパーアリーナの施設管理者で運営会社の筆頭株主として、幕張メッセのように同アリーナを臨時医療施設として活用することを検討してはどうか。

スーパーや商店街の「3密」状態が問題化している東京都では、小池 百合子知事 (67 歳) は混雑緩和策として当初、「名前のイニシャルや生まれ月などで時間帯を分ける」など非現実的な案を検討していた。例えばロンドンのスーパーのように、1人が出たら1人を入れる入店制限をしたり、店内各所に2m間隔のラインを引いて、客にソーシャルディスタンスを意識してもらったり、植木鉢を置くなどして脇道を塞ぎ店内を一方通行にして客同士の接触を防いだりするなど、具体的な行動を店と都民に要請したほうが実効性を持つのではないかと。

休業要請にもかかわらず、パチンコ店の営業続行が話題になっている。見せしめ的に店名公表をするのではなく、理由を聞き取りするなど対話の機会をつくったり、休業の見返りに駐車場に検査テントを設置させてもらい、利用料を払ったりするなどメリットを与えてはどうだろう。

ただただ「3密を守れ」「外出自粛」「休業しろ」と指示するだけでは、人は簡単に行動変容できない。自治体の首長は、せめて防災行政無線放送などで住民や事業者のこれまでの努力を慰労してみてもどうか。リーダーシップをとっている若手首長は、市民目線でのコミュニケーション上手。

また、増産しても不足しているマスクは、薬局やドラッグストアにはほとんどなく、なぜか宝石店やCDショップ、洋服店など、普段はマスクなど扱うことがないような店先に並んでいる。本当に必要としている医療現場では、マスクをはじめあらゆる衛生資材が払底し、使いまわしや代替品を余儀なくされている状況下であるのに、政治家は何をしているのか。このいびつな状況に対して直ちに手を打つべきだ。それができないなら、無駄にマスクを消費せず、口を噤んでstay homeでよろしい。 鈴鳴 仁（すずな じん）氏ジャーナリスト

[略歴]

全国紙記者や出版社所属ライターとして35年にわたって活動。得意分野は、医療、外交、ビジネス。長年の取材経験で培った人脈と多様な視点が強み。取材における信条は「問題点の提起と解決策の提案」。「ニュース批評」は、個性豊かなジャーナリスト5人による日替わりコラムで、医療界で話題の最新ニュースや出来事を紹介しつつ、独自の切り口で解説します。各ジャーナリストがそれぞれ「まとめる月曜日」「バイオの火曜日」「ざわつく水曜日」「裏側から木曜日」「バズった金曜日」を担当します。

第9回 コロナ禍で一転？日医会長選“にわか禅譲劇”の舞台裏

2020/06/04 ケアネット 裏側から木曜日インデックスページ ニュース批評インデックスページ



日々さまざまなメディアで報じられる医療ニュース。視点を変えると違った側面が見えてくるかもしれません。全国紙や出版社で執筆経験豊富なベテランジャーナリストが、多角的なニュースの味わい方をお届けします。

6月27日に投開票される日本医師会（日医）の会長選挙は、いずれも現職で5選を目指す横倉 義武氏（75歳）と、副会長の中川 俊男氏（68歳）との事実上の一騎打ちとなりそうだ。横倉氏は中川氏に禅譲の意向を伝えていたが、公示日の6月1日、一転して出馬を表明。同日記者会見した中川

氏は横倉氏から「君に任せる」と2度言われたと主張、「びっくりした」とも述べた。大阪府医師会の内部対立も絡み、副会長選も混迷しそうで、日医内部に禍根を残すかもしれない。

横倉氏は福岡県医師会会長、日医副会長を経て、2012年から日医会長を務め、17～18年は世界医師会会長に就任。安倍 晋三首相、麻生 太郎副総理兼財務相ら政権中枢に太いパイプを持ち、診療報酬改定では本体部分のプラス改定を勝ち取ってきた。

横倉氏は2018年の会長選で4選を果たしたものの、副会長選以下の選挙で波乱が起きたこともあり、世界医師会会長就任を花道に4期で勇退するとみられていた。しかし、日医が“ポスト横倉”で弱体化することを見越した財務省が、外来の受診時定額負担の導入などの医療費抑制策に切り込んできたことから、危機感を抱いた横倉氏は昨年8月、地元の九州医師会連合会の会合で事実上の5選目出馬を表明していた。

しかし今年に入り、収束の見通しのつかない新型コロナウイルス感染対策への疲れや、会長選で東京都医師会に次ぐ大票田である大阪府医師会の内部対立を反映した横倉退陣論の発信などを背景に、一時勇退を決意した。横倉氏が中川氏に会長職の禅譲を打診したことが、5月26日、中川氏の出身母体で顧問を務める北海道医師会の常任理事会で明らかになり、公になった。

横倉氏は5月末、大手紙の取材に対して「新型コロナウイルス感染症への第2波に備えるためにも選挙戦を避けたい」と述べていたが、6月1日の記者会見では「引退も考えたが、この状況での交代とは何かとお叱りを受けた」と説明している。出身母体の福岡県医師会に自らの引退と中川氏への禅譲を伝えに行くとの話もあったことから、逆に説得され出馬に転じたようだ。自らの行動が意に反した選挙戦を招く結果となったのは皮肉なことである。

一方の中川氏は、札幌医科大学医学部卒業。北海道医師会常任理事、日医常任理事を経て、2006年から2期4年に渡り日医の常任理事、2010年から現在まで4期10年に渡り副会長を務めている。中央社会保険医療協議会（中医協）や社会保障審議会（社保審）の委員を務めたほか、日医では医療政策・医療保険・地域医療などを担当し、51の会内委員会の中でもとりわけ重要な「社会保険診療報酬検討委員会」で主導的な役割を担ってきた。

事情通は、「この会は主要な学会や病院団体のトップも加わったクローズドな会で、ここでの中川氏の努力は光っていた」と話す。

中川氏は2018年の会長選に出馬を模索したが、横倉氏が世界医師会会長に就いていたこともあり、断念した。しかし、今回の出馬に向けた根回しは水面下で続けていたようで、北海道医師会役員は「北海道はもとより、東北、北陸、東京を含めた関東、近畿、中国、四国、九州の多くの医師会が中川氏支持を決めている」と説明する。

ただ、横倉氏の出馬表明で態度が揺らいでいるように見える医師会もある。中川氏の6月1日の東京選対事務所開きに東京都医師会から出席したのは、会長ではなく副会長だった。

横倉氏と中川氏の違いについて、前述の役員は「横倉氏は政治家とのパイプが売りだったが、中川氏は政治家をあまり信用していない。それに、安倍政権の支持率が落ちている中、政権中枢とのパイプはPR点にならない」と話す。また、霞が関に対するスタンスは「財務省は敵、厚労省は味方」とよく言っているという。

問題は大阪だ。横倉氏は大阪府医師会（府医）出身の松原 謙二・日医副会長の手腕を疑問視し、2018年の役員選ではクビのすげ替えを図ったが失敗。茂松 茂人・府医会長の日医副会長抜擢を念頭に、今年1月、府医の賀詞交換会に出席したが、反茂松派が反発。横倉退陣論を発信するようになったという。反茂松派の中心人物と目される伯井 俊明・元府医会長は、日医で府医出身の植松治雄会長時代に常任理事を務め、松原氏の後見人的存在でもある。

松原氏は5月から、日医副会長選を念頭に置いたと思われる医療制度改革案を日医代議員・予備代議員に複数回郵送しており、「副会長選には、府医から松原氏と茂松会長派の2人が出馬する可能性がある」と前述の事情通は予測する。

くしくも、植松氏が当選した2004年の日医会長選には、北海道医師会参与で日医副会長だった青柳 俊氏も出馬したが、東京・大阪連合の前で涙をのんだ。今回、北海道勢は雪辱を果たせるか。コロナ禍がまだまだ油断ならない中、各地で「密」な選挙対策が練られていることだろう。

鈴鳴 仁（すずな じん）氏ジャーナリスト

[略歴]

全国紙記者や出版社所属ライターとして35年にわたって活動。得意分野は、医療、外交、ビジネス。長年の取材経験で培った人脈と多様な視点が強み。取材における信条は「問題点の提起と解決策の提案」。

「ニュース批評」は、個性豊かなジャーナリスト5人による日替わりコラムで、医療界で話題の最新ニュースや出来事を紹介しつつ、独自の切り口で解説します。各ジャーナリストがそれぞれ「まとめる月曜日」「バイオの火曜日」「ざわつく水曜日」「裏側から木曜日」「バズった金曜日」を担当します。